

第 18 回  
大橋よしひさ  
町政報告会資料

とき 1月23日(土) 午前10時より

場所 高野農村センター

# 第 18 回町政報告会資料

## I 会期

12 月定例会日程（5/20）会期 19 日間

### 【内訳】

実働	本会議	6 日
	委員会	1 日
休会	議案調査	2 日
	議事の都合	4 日
	休日	6 日

## Ⅱ 一般質問

### ① 大橋よしひさ一般質問

(12月3日)

#### 1 ウォーキングのさらなる普及を

**Q ウォーキング教室、ウォーキング大会の成果は。**

A 今年度はウォーキング教室を3回行い、計60人が参加した。ウォーキング大会は約10kmのコースで11月21日に初めて行い、70人の参加がいた。

**Q おさんぽマップ、ウォーキングマップの活用は。**

A おさんぽマップは町や商工会などを通じて一般に配布し、ウォーキングマップは依頼があれば提供する。

**Q いろいろなところに置いて活用を図るべきでは。**

A 関係各課と協議し、設置、普及していきたい。

**Q すべてを町で引き受けるより、すそ野を広げるためにも委託していくべきでは。**

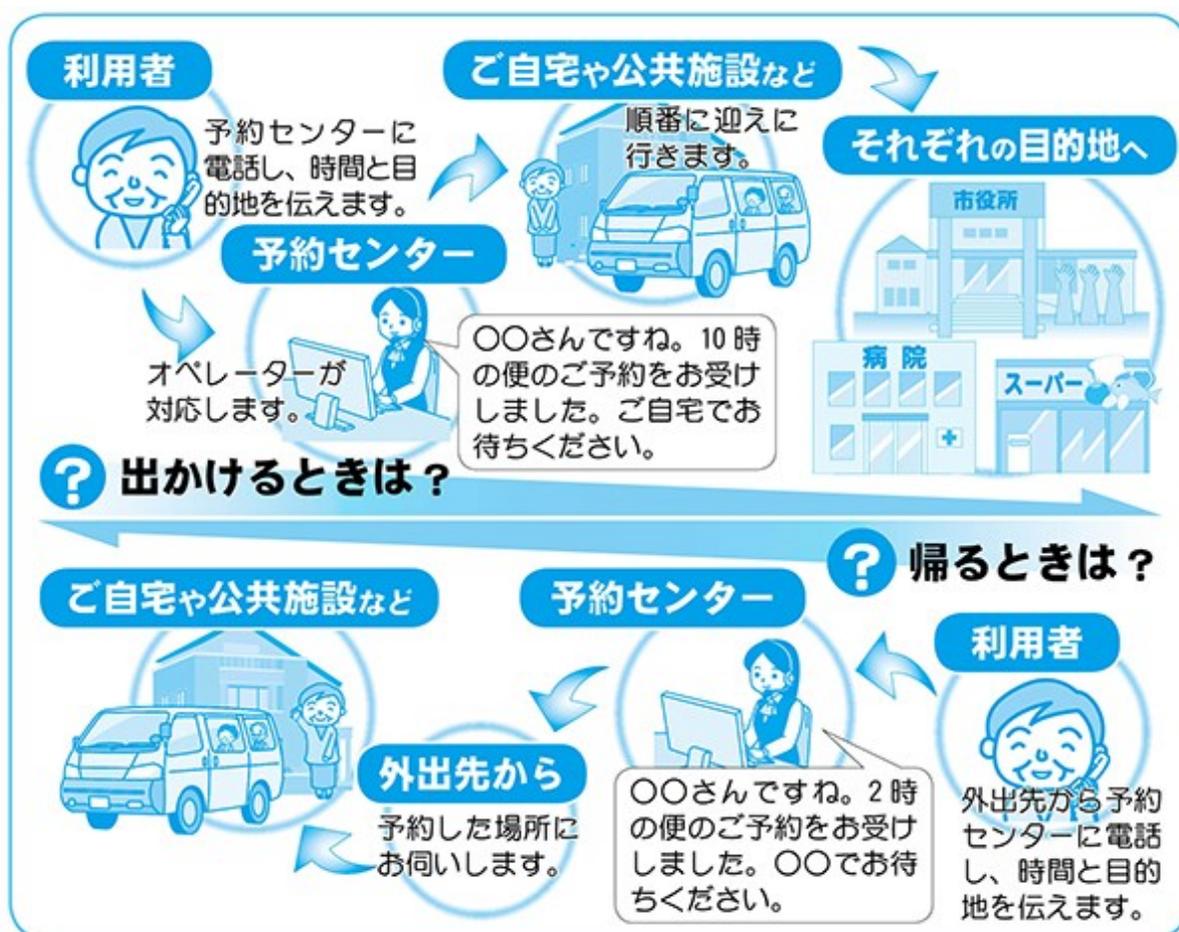
A 継続することが重要なので一步一步進めていきたい。

**Q 横浜市では歩いてポイントがたまる横浜ウォーキングポイント事業を行っている。また、岡山市、浦安市**

など先進的な自治体ではスマートウェルネスシティとしてこのような事業を行っている。当町においても行うべきでは。

A 先進事例を参考にしながら研究したい。

## 2 デマンドバスの運行を



図は幸手市HPより引用

**Q 白岡市では、交通不便地域（駅から半径1km、バス停から半径300m圏外）の数を調査し、7771人という数字を出したが、交通不便地域に住んでいる杉戸町の住民はどれくらいか。**

A 白岡市では国庫補助金を使って調査した。町では調査していないが、デマンドへの移行の意向が高い場合は調査する必要がある。

**Q 国庫補助金は町では使えないのか。**

A 新しく地域交通システムを導入する自治体を対象としたものではないかと聞いている。

**Q 便数を増やしてもコースを変えても巡回バスには限界があるのではないか。**

A 利便性を考えればデマンドバスの方があると思うが、デメリットもある。路線バスやタクシー業界に対する影響も多いのではないか。

**Q 巡回バスは5年契約になっているが、その根拠は。**

A 陸運局の許可が必要であり毎年度企業を変えるのは不適切だと考える。

**Q バスの委託料1200万円の評価は。**

A 比較的安いと認識している。

Q デマンドバスを導入するとなるといつになるのか。

A 調整のためかなり時間がかかるのではないかと。

Q 巡回バスに関するアンケートの中でデマンドバスに対する問いが2問しかないが、それで判断するのか。

A 需要なども把握できればと考える。

Q 「デマンド」という言葉を町民が知らない。知らないのだからデマンドに対する町民の機運が高まらないのは当たり前。だが、巡回バスが不便だとはわかっている。不便だからといって「じゃあどうしよう」と考えるのは町民の仕事ではない。役場の方々がサービスを考えて提供することが住民サービスにつながっていくのではないかと。ニーズに先駆けてデマンドを導入すべきでは。

A 住民の意向を踏まえた上で進めたい。

Q 10月から幸手市でもデマンド交通が始まったがその状況は。

A 1か月で登録者が1758名。利用者数は延べ580人。

### 3 アグリパークゆめすぎとのさらなる活性化を

**Q トイレの改修がなかなかすすまないが、いつ計画されるのか。**

A 平成 28 年度には計画を立て始めたい。

**Q 朝日バスなどに乗り入れを求める考えは。**

Q 採算があうかが判断材料になる。採算が合わない場合は町の費用負担になる場合もある。費用対効果の面からもアグリパークと協議する必要がある。

**Q 土日はバーベキュー場でお酒を飲む人も多い。日曜日は巡回バスが運行していないのだから、日曜日だけでも巡回バスを転用して運行できないか。**

A 担当課内でもバスがあればいいなという声がある。積極的な検討を行いたい。

**Q 買い物難民対策のためにも、アグリの乗り降りを無料にしてはどうか。**

A 受益者負担などの面からも慎重に検討する必要がある。解決すべき課題もあり、担当課と慎重に協議する必要がある。

**Q** プレミアム商品券としてぴかる商品券が発行された。販売期間を延長するなどして完売したが延長せざるを得なかった理由と、利用率、そしてその効果は。

A 2 か月間の利用で使用できる期間が短かったので、期間を延長した。利用率は 99% 近くあり、効果は十分にあったと考える。

**Q** 「同世代に何があったらアグリに行くか？」と聞いたところ「カフェ」という答えが多かった。人を呼び込めるカフェなどの施設は作れないものか。

A 商業施設の充実ということも機能強化の構想として検討しており、その中で具体的に進めていきたい。

## ② 議員一般質問

12月議会では、12人の議員が一般質問を行いました。

議員名	質問内容
伊藤美佐子	子育て支援の充実
	放課後子ども教室の今後は
	選挙対応は
平川忠良	統合幼稚園・保育園複合施設について
	杉戸宿開宿400年事業について
	人口減少対策について
森山哲夫	マイナンバー制度への対応について
	パブリックコメント制度の改善を
須田恒男	広島平和記念式典の参加評価と今後の取り組みは
	道交法改正による取り組みは
	町道Ⅰ級1号線の拡幅計画は
	定住促進策は
仁部前崇	道路冠水対策について
	根用水路改修工事について

	開宿400年に向けて
石川 敏子	統合幼稚園・保育園の複合施設の開園準備
	新制度に移行した保育園の現状は
	放課後児童クラブの拡大は
	空き家対策について
宮田 利雄	農地政策について
稲葉 光男	保健センターの早期改修について
	小・中学校でのパソコン設置状況について
	南側整備事業について
	町道整備について
阿部 啓子	巡回バスはもっと便利に
	介護保険事業計画と実態の乖離が起こるのではない か
	安心して介護が受けられるように町独自の対策を
窪田 裕之	都市計画道路の早期整備について
	自然と共生したまちづくりについて
都築 能男	2025年問題について
	東武動物公園駅東口通り線整備について

大 橋 芳 久	ウォーキングのさらなる普及を
	デマンドバスの運行を
	アグリパークのさらなる活性化を
勝 岡 敏 至	町立幼稚園・保育園の保育料値下げについて
	南側水路の状況と整備について
	杉戸燃料備蓄基地について

### Ⅲ 議案

12月議会では、議案など16件を審議しました。

番号	議案名	議決結果
65	杉戸町教育委員会委員の任命について	同意
66	工事委託契約の変更について（町道Ⅰ級5号線築道陸橋耐震補強補修工事）	原案可決
67	第5次杉戸町総合振興計画後期基本計画について	原案可決
68	杉戸町保育の必要性の認定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
69	平成27年度杉戸町一般会計補正予算（第3号）	原案可決
70	平成27年度杉戸町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
71	平成27年度杉戸町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
72	平成27年度杉戸町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
73	杉戸町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	原案可決
74	杉戸町税条例の一部を改正する条例	原案可決
75	杉戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
76	杉戸町学校の設置条例の一部を改正する条例	原案可決

77	杉戸町立保育園の設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
78	杉戸町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
意見書	夜間中学の整備と拡充を求める意見書	原案可決
議会3	杉戸町介護保険条例の一部を改正する条例	否決

詳しく説明します！

76号 杉戸町学校の設置条例の一部を改正する条例

77号 杉戸町立保育園の設置及び管理条例の一部を改正する条例

→ 中央第二幼稚園、東幼稚園、南幼稚園を廃園とし、

すぎと幼稚園を設置、すぎと保育園を新設

## IV 全員協議会より

[11月18日(水)]

- (1) 子ども・子育て支援新制度に対応した組織等について
- (2) 杉戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

[11月26日(木)]

- (1) すぎと男女共同参画推進プラン(第4次)(素案)について
- (2) 町内巡回バスの今後の在り方等に関するアンケートについて
- (3) 第6次杉戸町行政改革大綱について
- (4) 杉戸宿開宿400年プロジェクトの進捗状況について

[12月14日(月)]

- (1) 杉戸町生活排水処理基本計画の見直しについて

## V 今後について

### 【町内の動き】

- ① 1月24日(日) … 杉戸町新春マラソン
- ② 1月31日(土) … コミュニティまつり
- ③ 2月16日(火) … 3月議会開会
- ④ 2月21日(日) … エコ・スポ祭り
- ⑤ 10月31日(日) … 宿場まつり

### 【町外の動き】

- ① 宮代町議選 … 2月7日投開票

定員14名 で 17人が出馬予定。

内訳、現職は一人引退し4人出馬予定とのこと

### 【後援会関係】

バス旅行 … 4月15日(金)

## VI いただいたご質問に対して

### 【質問いただいた解答】

Q 修学旅行などを町内の学校でまとめて行えば経費が安く済むのでは。

A 学校により実施する期日や泊まる施設が違います。事前の準備や意思統一(目的の違い)もあるので、現状では合同で行うのは難しいです。また、人数が多いから安価というわけでもありません。ご意見ありがとうございます。

## 【 杉戸町を知ろう！第3回 】

( )の中から適するものに○を付けてください！

問1 2016年1月1日現在、杉戸町の人口は46109人です。

この人口は、4年後の平成32年までに、約( 500 ・ 1000 ・ 1500 )人減るとされています。

さらに、平成47年には町の人口は約( 41500 ・ 40000 ・ 38500 )人になるとされています。

問2 2016年1月現在、杉戸町の高齢化率(65歳以上の方が人口に占める割合)

は、27.6%です。この割合は、4年後の平成32年に、約( 29 ・ 30 ・ 31 )%になるとされています。

さらに、平成47年には約( 30 ・ 35 ・ 40 )%になるとされています。

問3 平成20年から平成24年にかけての合計特殊出生率について。

国の合計特殊出生率は1.38、県の合計特殊出生率は1.31です。

杉戸町の平均出生率は県の合計特殊出生率1.31と比べて

( 高く ・ 同じ ・ 低く ) なっています。

問4 まちの住みごころについて。「よい」「どちらかというといよい」と感じている人は、約( 40・50・60 )%となっています。それに対し、「どちらかというとい悪い」「悪い」という人は約( 15・25・35 )%となっています。

問5 まちに対する愛着について。

まちに愛着を「とても感じている人」「どちらかというと感じている人」は、約( 45・50・55 )%となっています。それに対し、「あまり感じていない」「感じていない」という人は約( 15・25・35 )%となっています。

問6 まちの環境について一番の不満と感じているのは、

( 商業環境 ・ 医療体制 ・ 道路の整備状況 ・ 産業振興 ・ 観光振興 )

についてとなっています。

逆に、一番満足しているのは、

( 自然環境の豊かさ ・ ごみ処理 ・ 消防防災 ・ 広報活動 )

についてとなっています。

問7 これから何を活かしたまちづくりをしていけばいいのかという問に対して、

( 農業のまち ・ 子育て教育のまち ・ 安心安全のまち ・ 観光のまち  
健康福祉のまち )となっています。

## 答・解説

問1 A 500人 / 40000人

平成32年の人口予測は45612人。今は緩やかな人口減少のペースは加速し、平成47年には40213人になると予想されています。また、平成52年には37936人になるとされています。

問2 A 31% / 35%

高齢化が進んでいきます。平成47年の人口40213人の割合は、年少人口3838人、生産年齢人口22528人、老年人口14203人の想定となっています。

問3 低くなっている

杉戸町の合計特殊出生率(15歳～49歳までの助成の年齢別出生率を合計したものは)1.23になっている。杉戸町で生まれる子どもの数は平成24年時点で302人、ちなみに死亡者数は427人です。

問4 50% / 15%

平成26年6月に行われたアンケートによると、「すみごちがよい」と答えた人は19.3%、「どちらかというすみごちがよい」と答えた人は29.2%、「ふつう」と答えた人は36.5%、「どちらかというすみごちが悪い」と答えた人は8.9%、「すみごちが悪い」と答えた人は4.5%となっています。

問5 55% / 15%

平成26年6月に行われたアンケートによると、「とても愛着を感じている」と答えた人は17.0%、「どちらかという愛着を感じている」と答えた人は38.8%、「どちらともいえない」と答えた人は25.9%、「あまり愛着を感じていない」と答えた人は11.4%、「愛着を感じていない」と答えた人は5.3%となっています。

## 問6 商業環境 / ごみ処理

平成26年6月に行われたアンケートによると、環境に対する満足度は、「商業環境」が-3.15点、「公共交通機関の便利さ」-1.77点、「観光振興」が-1.76点、「医療体制」が-1.70点となっています。

一方、「ごみ処理、リサイクルの状況」2.43点、「自然環境の豊かさ」1.75点、「消防・防災体制」は1.39点となっています。

## 問7 健康・福祉のまち

平成26年6月に行われたアンケートによると、今後のまちづくりの特色について、「健康・福祉のまち」が53.1点、「安心・安全なまち」が28.2点、「快適住環境のまち」が22.7点、「子育て、教育のまち」が21.7点となっています。

これらのアンケートに基づいて、

手を取り合い 未来を築こう みんなでつくる 心豊かに暮らせるまち 杉戸

をキャッチフレーズに、

- 「人をつなぎ 語らいのあるまち」
- 「みんなに優しく、思いやりのあるまち」
- 「人を育む、心豊かなまち」
- 「活力を育み、賑わいのあるまち」
- 「安心・安全で、やすらぎのあるまち」
- 「快適で、ゆとりのあるまち」

の6つの柱をもとに、「第5時杉戸町騒動振興計画後期基本計画」を策定しました。